

スパイカメラについての説明

susan12

事務所に新しく監視カメラを設置する

社員たちのモチベーションが下がっています。ギズギズした社内では、小さなトラブルが増えてきているようです。みんながみんな、お金を盗んだ容疑者として疑いをかけられ、その状況で仕事をしているからです。実はスーパーの中には数台の [隠しカメラ](#) が昔からあるので、目星としては、事務所に新しく監視カメラを設置してみたいのです。社員の着替えや休憩の場所などがいろいろと兼務された所です。

プライベートな部分もある事務所内ですが、監視カメラをこっそり設置する事はできるのでしょうか。証拠が必要でした。今まで社員を信用している部分はあって、疑いの目を向けたくはありませんでした。しかし、犯罪は犯罪です。相変わらず、毎月1万円が無くなっているのです。泥棒はもちろん完全犯罪を狙っています。そのため、人目に付くことを極端に恐れます。そのため盗みにかかる時間も極力抑えようとしています。 [小型カメラ](#) や防犯ベルといった防犯システムを最も恐れています。誰でも被害者にはなりたくありません。犯罪は起こる前に防ぐことが何よりも重要です。セキュリティ・バーンズは防犯のプロです。赤外線機能を備えた高品質の防犯カメラのご提案はもちろんのこと、確実な証拠を撮影するにあたり、最適な防犯カメラの配置を含む総合的な防犯プランをご提案します



インターネットや店頭等で販売されている盗聴器や隠しカメラの数は、年間数十万個以上とされています。知らない間に勤務先や自宅、または電話機に、盗聴器や隠しカメラが仕掛けられているかもしれません。

[火災報知器型カメラ](#) が各部屋にある場合は、ほとんどがドーム型ですし、その他は旧式のカメラそのものやフェイク（偽物）というのもあります。これらは持ち込みの防止や、利用者が部屋で変なことをしないかなどチェックするために、お店が独自に設置しているものです。また、カメ

ラを従業員が見ているかと言えば、よほどヒマなお店ならばそうかもしれませんが、ほとんどは忙しいので一々見ているヒマがないのが現状です。

無数にある隠しカメラ、小型のカメラや火災報知機の形をしたカメラ、店舗で活躍なのがコーナーミラー型もカメラ。その中で、よく利用されているカメラはやっぱり小型カメラ。

とても小さく、どこにでも設置が可能。防水処理をする事で屋外にも設置が可能です。今回はそんな小型カメラの紹介をさせていただきます。

<http://curet.jp/article/16151>

<https://tommue.pressbooks.com/front-matter/tommue/>